

広

報

あつま

2007

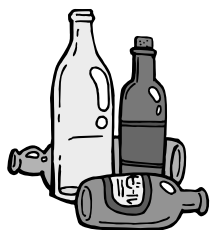
2

No. 654

いのち満ちる 農(みのり)の里あつま 大いなる田園の町

上手に
滑れるようになったよ





■ ガラスびんを再資源化のため

毎日出されるごみの量は、ライフスタイルの変化などにより年々増え続けています。ごみの量を減らすこと、資源として再利用することは、私たちの快適な生活環境を守っていくうえで、地域をあげて真剣に取り組まなければならない重要な課題となります。

安平・厚真行政事務組合では、平成19年4月からガラスびんの再資源化（ガラスびんの原材料として再利用、グラスウール・タイルなどの原料として多用途利用）を行います。

現在、びんと缶を第2・第4水曜日に同時に収集していますが、平成19年4月からは、それぞれ分けて収集するため、缶は第2水曜日、びんは第4水曜日（それぞれ月1回）が収集日になります。

■ 現在の収集日

第2・第4水曜日

びん・缶
同時に収集



■ 4月からの収集日

第2水曜日

缶



第4水曜日

びん



資源ごみ（びん・缶）の
収集日が変わります！

紙パック・ペットボトルの収集日は、第1・第3水曜日で変更ありません。

■ 限りある貴重な資源。皆様のご理解とご協力を！

◆問い合わせ先

安平・厚真行政事務組合（☎22-3151）

役場町民課生活環境係（☎27-2321 内線232）

4月1日から

町の組織が変わります

部制・係制

4部
10課
1支所
4室



課制のもとにグループ制

6課
1支所
1室
1センター

少子高齢化、情報化、地方分権の本格化など社会の潮流や構造が変化し、地方自治体を取り巻く環境は大きな変革期を迎えています。町では、昨年4月に新しいまちづくり計画「第3次総合計画」をスタートさせましたが、こうした変化の中で地域の豊かさを実現するためには、地域のことは地域で考え、地域が決定し、地域自ら実施していくことが何よりも求められるところです。

また、新しいまちづくりを進めるためには、職員自

らが前例踏襲、慣行優先といった意識改革はもちろんのこと、最少の経費で最大の効果を上げる効率的な行政運営が必要になります。このことから、町では今までにも増して、成果の重視、仕事の効率化など柔軟な組織体制の下で、時代の要請に対応できる組織機構を目指し、4月1日から部制と係制を改め、課制のもとにグループ制を採用して、縦割りの組織体制からフラットな組織へ転換する組織改革を行うことにしました。

新しいまちづくりを目指した組織改革

新しい組織体制の位置づけ

事務事業を進めるためには、横の連携が重要になります。部・課・係という縦割り組織は人員の確保が容易な場合はメリットを発揮しますが、限られた人員で業務遂行を行う場合には、横の連携や業務量と人員の関係に問題がありました。

新しい組織体制では、課の組織を大きくし、グループ単位で仕事を割りふり、業務の繁忙期や期間ごとなど業務に合わせた人員の調整機能を課に下ろして、行政の効率化や政策課題への迅速化を図ろうとするものです。

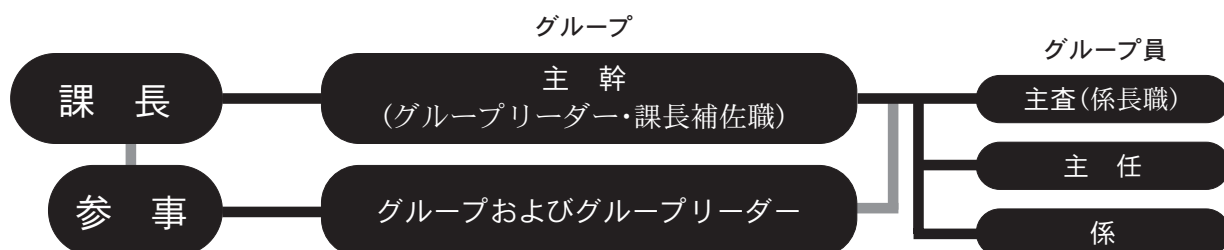
課制の主な変更内容

町長部局の組織体制は、現行4部、10課、1支所、4室となっていますが、4月1日から部制を廃止して、現行の2課を1課に統合することを原則として6課、1支所、1室、1センターに簡素化を図ります。

これにより、係は現行の39係が15グループに再編されることになります（ただし、施設の設置条例等に基づく部門は、関連する部門を除きそれぞれの設置条例施行規則による体制としますので、この中に含まれません）。

課制およびグループ制の例示

課制およびグループ制における職員配置は、次のような体制になります。



※課の事務分掌を効率的に処理するため、必要に応じて課に参事(管理職)を置く。

総務課

財政税務課の「財政係」を「総務課」に統合

総務人事グループ

「総務係」「職員係」「管財防災係」「広報広聴係」を「総務人事グループ」に統合し、業務の効率化と情報システム管理部門の充実を図る。

- ・ 儀式および表彰等関係
- ・ 情報公開および個人情報関係
- ・ 人事および給与関係
- ・ 公有財産の管理関係
- ・ 防災および国民保護関係
- ・ 広報広聴関係

財政行革グループ

財政税務課の「財政係」を総務課に移し、「財政行革グループ」を設け、行財政改革の推進を図る。

- ・ 予算および決算関係
- ・ 入札関係
- ・ 行財政改革関係

町民課

財政税務課の「賦課係・納税係」を「町民課」に統合

町民生活グループ

「生活環境係」「戸籍住民係」「国民年金係」「交通防犯係」を「町民生活グループ」に統合し、業務の効率化を図る。

- ・ 戸籍および住民基本台帳関係
- ・ 国民年金関係
- ・ 廃棄物関係
- ・ コミュニティ活動関係
- ・ 交通防犯関係

税務グループ

財政税務課の「賦課係」「納税係」を町民課に移し、同係を「税務グループ」に統合し、業務の効率化を図る。

- ・ 町税の賦課関係
- ・ 町税の徴収関係

保健福祉課

変更なし

福祉グループ

「福祉係」「高齢者福祉係」を「福祉グループ」に統合し、業務の効率化を図る。

- ・ 保育所等の児童福祉全般
- ・ 障がい者支援全般
- ・ 高齢者福祉および介護保険全般

健康推進グループ

「健康管理係」「健康支援係」「医療給付係」を「健康推進グループ」に統合し、業務の効率化を図る。

- ・ 各種住民検診関係
- ・ 疾病予防および保健指導関係
- ・ 国民健康保険関係
- ・ 福祉医療給付関係

子育て支援グループ

「京町保育園」「子育て支援係」の業務を「子育て支援グループ」に統合し、業務の効率化を図る。

- ・ 保育業務関係
- ・ 子育て支援関係

地域包括支援センター

現行どおり
【厚真町地域包括支援センター規則による】

- ・ 介護予防支援関係
- ・ 包括的支援事業関係

総合福祉センター

現行どおり
【厚真町総合福祉センター条例施行規則による】

- ・ 施設の使用管理関係

まちづくり推進課

「産業立地課」を「まちづくり推進課」に統合

企画調整グループ

「企画係」「政策推進係」「統計係」を「企画調整グループ」に統合し、新たに都市施設課の「都市計画係」をまちづくり推進課企画調整グループに移し、都市計画法、土地利用および地域情報化などまちづくり部門の一体化を図る。

- ・ まちづくり施策の立案関係
- ・ 総合計画の推進関係
- ・ 都市計画および土地利用関係
- ・ 地域情報化の推進関係
- ・ 行政評価関係
- ・ 統計関係

事業推進グループ

「産業立地係」を「事業推進グループ」に改め、新たに移住定住と地域開発部門を加え、移住定住と産業立地部門の充実を図る。

- ・ 移住定住関係
- ・ 企業誘致関係
- ・ 地域開発の調査企画関係

産業経済課

「農業振興課」「大規模開発推進室」「商工経済課」を「産業経済課」に統合

農政グループ

「農政係」「農業企画係」「生産振興係」を「農政グループ」に統合し、業務の効率化を図る。

- ・農業振興関係
- ・農業資金関係
- ・農業災害対策関係

農業農村整備グループ

「大規模開発推進室」を「農業農村整備グループ」に改め、業務の効率化を図る。

- ・土地基盤整備関係
- ・かんがい排水事業関係
- ・農地開発関係

商工観光・林務水産グループ

「商工観光係」「特産係」「林務係」「水産係」を「商工観光・林務水産グループ」に統合し、業務の効率化を図る。

- ・商工業の振興関係
- ・観光関係
- ・林業振興関係
- ・水産振興関係

建設課

「土木課」「都市施設課」を「建設課」に統合

土木グループ

「管理係」「道路係」「河川係」「維持係」「用地係」を「土木グループ」に統合し、新たに都市施設課の「公園部門」を土木グループに移し、業務の効率化を図る。

- ・道路、河川等の管理関係
- ・道路、橋りょう、河川の改良関係
- ・地籍関係
- ・道路、河川等の災害復旧関係
- ・都市公園関係

建築住宅グループ

「建築係」「住宅係」を「建築住宅グループ」に統合し、業務の効率化を図る。

- ・建築確認および建築の相談指導関係
- ・町有住宅の入退居および使用料関係

上下水道グループ

「水道係」「下水道調整係」「下水道施設係」を「上下水道グループ」に統合し、特別会計業務の効率化を図る。

- ・水道・下水道関係
- ・浄化槽の普及促進関係

上厚真支所

現行どおり
【厚真町役場上厚真支所処務規則による】

- ・支所業務全般

交流促進センター

現行どおり
【厚真町交流促進センター条例施行規則による】

- ・交流促進センターの運営管理関係

会計室

【会計管理者の補助組織規則による】

- ・会計管理業務関係

※グループの名称については、変更になる場合があります。
また、各課の配置および職員配置などについては、職員体制が決まりましたら、お知らせします。



希望に胸膨らませ今日から大人への第一歩

成人式カメラフラッシュ



一月八日、総合福祉センターで「平成十八年度第五十九回厚真町成人式」が開催されました。五十四人の成人者が出席し、式典、町民吹奏楽団の祝演、町長からのまちづくり講話、昼食交流会などが行われました。式典では宮西教育委員会委員長が「自身の言葉と行動に責任を持ち、信頼される大人になってほしい」と式辞。成人者を代表して永澤宏基さん（富里）が「失敗を恐れず、夢や希望を持って社会人として歩んでいきたい」と大人への第一歩にあたり決意を述べました。



誓いの言葉を読む山崎亜美さん



交通安全宣言をする山口翔太さん



記念品を受け取る青木友紀さん



答辞を述べる永澤宏基さん



エア・ドゥの客室乗務員をしている木戸裕理香さん(右)と札幌にある病院の小児科で医療事務をしている矢倉妙子さん



式典の様子



式辞をする
宮西教育委員会委員長



中学校の恩師真野純平先生も式典に参列



会場ロビーでスナッフ撮影



町商工会に勤務している前川さとみさん



苫東石油備蓄で働いている鳥井義弘さん



厚真福祉会で仕事をしている渡辺美法さん



町長によるまちづくり講話



思い出話に花を咲かせ近況を報告しあう



旧友とパチリ



昼食交流会で仲良くピースサイン

雪が降るなか一生懸命頑張った選手たち

スケート記録会フォト

第二十七回町小中学校スピードスケート記録会が一月二十七日、町民スケートリンクで町内の小中学校から八十二人の選手が参加し行われました。
今シーズンは、暖冬と雪が少ない影響により、各学校ではスケートリンクが出来るのが遅れ、例年に比べると選手たちの練習量は少なめでした。
大会当日は、雪が降るコンディションでしたが、大会新記録が四つ誕生するなど、選手たちは、保護者や先生そして友だちからの声援に後押しされて、一生懸命に滑走していました。
■大会新 小学一年女子二百五十歳／佐々木鈴花さん四六秒四二、同三年女子同歳／板橋若奈さん四一秒二二、海沼なつ実さん四一秒三四、同年女子五百歳／鬼頭琴音さん五六秒二九



小学女子2000歳 リレーで優勝した富野チーム
左から中島結衣さん(4年)、中島華奈さん(6年)、森山裕花さん(5年)、下川原美希さん(3年)



競技中休みなく除雪をする幅田教育長



小学男子2000歳 リレーで優勝した富野Aチーム
左から山家郁也くん(5年)、渡部勇樹くん(6年)、古本貴仁くん(6年)、下川原華宏くん(5年)

戸籍の電算化システム稼動

待ち時間の短縮などで行政サービスの向上を図る

行政サービスの向上を図る目的で進められていた戸籍電算化システムが完成し、一月二十二日に役場庁舎で稼動式が行われました。このシステムの導入によって、これまで証明書発行に五分から十分の時間が必要でしたが、一分から二分に短縮されるほか、情報の一元管理や事務処理の正確性が向上します。

稼動式には、札幌法務局苫小牧支局員や河村町議会議長などが列席する中、藤原町長が「道内自治体で四十番目となる戸籍電算化システムの導入で、スピーディーかつ正確な事務処理が可能になり、より一層の行政サービスの向上を図りたい」とあいさつ。証明書を取りに役場を訪れた石崎望路さん（軽舞）に、町長がシステムから初めて出力した全部事項証明書（旧謄本）が手渡されました。



証明書を受け取る石崎さん親子と稼動式でのテープカット（左下）

とましんさんから寄付 今年度から5年間

苫小牧信用金庫から本町の地域振興に役立ててと50万円の寄付金が1月24日、窪田護理事長が役場を訪れ、藤原町長に手渡されました。

同信用金庫が平成20年に創業60周年を迎えるにあたり、その記念事業の一環として、指定金融機関になっている1市5町の自治体へ5年間にわたり寄付されるものです。

本町ではこの寄付金を地域振興基金に積み立て、社会福祉の向上や生活環境の整備など有効に活用させていただきます。



窪田理事長から町長に寄付が手渡される

準優勝した団員と父母の皆さん



ひまわりバレーボール少年団 全道大会で準優勝の栄冠

1月12日から3日間にわたり江別市で行われた「第23回北海道小学生バレーボール選抜優勝大会」で、ひまわりバレーボール少年団（星野浩樹育成会長・団員10人）が準優勝の栄冠に輝きました。この大会は全道4地区から上位4チームが参加するレベルの高い大会で、ひまわりは初戦を落としましたが、持ち前の粘りとチームワークで決勝戦まで勝ち上がりました。立石恵輝監督は「一生懸命練習した成果が大舞台で大きなひまわりの花を咲かせた」と子どもたちの活躍と成長に目を細めていました。

まちの話題

日本水難救済会浜厚真救難所（沢口伸二所長）の出初め式が1月13日、浜厚真漁港で所員9人、苫小牧海上保安署長、地域・町関係者など約20人の来賓が参列し行われました。

藤原町長が「設立以来73年の歴史と伝統として誇りのある救難所。一旦緩急があればただちに出勤して成果をあげられており、心から敬意と感謝をしたい」とあいさつ。沢口所長が「自分たちも安全操業に心がけるとともに、海難があったときは、まい進する覚悟です」と決意を述べていました。

海難があったときはまい進する覚悟



1月10日、総合福祉センターであつま新年交礼会が行われ、町内外の各界から多くの方々が出席し交流を深めました。

交礼会は、J Aとまこまい広域など町内の6団体により主催する毎年恒例の行事。

世話団体を代表して岡部純町商工会長が「今年も豊作で、すばらしい一年になることを心から願う」とあいさつし、各テーブルでは、和やかに談笑する姿が見られました。



今年も豊作ですばらしい年に

小納谷萌美さん(厚中3年)道選抜チームで全国大会出場

厚真中学校3年生の小納谷萌美さん(幌内)が、12月24日から27日まで大阪市などで開催された「JOCジュニアオリンピックカップ第20回全国都道府県対抗中学バレーボール大会」に北海道女子チームの一員として出場しました。ひまわりバレー少年団出身の小納谷さんは厚中バレー部に所属し、各大会での技術と能力が高く評価され北海道チーム精鋭12人のひとりに選抜。大会に向けて道内各地で行われる練習や合宿を重ねてきました。

小納谷さんは「すごく大きな体育館で、北海道チームの一員としてプレーできたことは、忘れられない思い出です」と声を弾ませていました。



全国大会のコートで活躍する小納谷さん



交通事故のない安全で安心な町を祈願

町交通安全協会(池川義厚会長)の主催で交通安全祈願祭が一月十一日、厚真神社で行われました。同協会員、自治会、団体、事業所などから約四十人が参列し、交通事故のない町を願い玉ぐしをささげました。池川会長は参列者へ「二年連続で北海道は交通事故死ワーストワンを返上した。安全で安心な町づくりのため皆さんの協力をお願いします」とあいさつをしていました。



火災や災害のない町を心に刻み行進

一月六日、厚真消防団・消防署支署の合同による出初め式が上厚真地区で行われました。地域の方々や消防団OBの方々など多くの関係者が見守る中、閲覧式が厚南会館前で挙行されました。その後、式典では石橋公昭さん(宇隆)、山本幹さん(厚和)に永年消防団員としての功労をたたえられ北海道知事表彰が贈られたのをはじめ、二十人が表彰されました。

い
き
い
き

い
き
い
き

ふるさと

図
鑑



メルヘンを感じさせるものを作りたい

本郷 森本 國男^{くに お}さん(66歳)



町観光協会主催により今年度初めて行われた、あつまイルミネーションコンテストで最高位の金賞に輝いた森本さん。本郷橋付近に燦然と輝くイルミネーションに心とんだ人たちも多いはず。

「平成十年ごろだったかな。子どもが独立して、クリスマスツリーを家の中に飾って置くのもなんだから、外に出してみたんですよ。増えたのは五年前くらいかな」。

ホームセンターから電球つきのコードを購入し、自分の思い描くイメージを手作業で作っていく。

「農協に勤めていた最初のころは、洗濯機などの電気製品や石油ストーブ、ホームタンスの取り付けをよくやっていたんですよ」と総延長約四百^{メートル}のコードを操る手先の器用さをうかがい知ることができる。

今シーズンの飾りつけの構想

は、一年前から出来ていたと言う。「コードの長さが決まっているので、図に書いて計算はしているけど、作っていると短かったり長かったりして、なかなか思いどおりにはいかないよ」と笑う。

森本さんのイルミネーションは、色とりどりの光を放ち、大きさは高さ七・五^{メートル}、長さ十五^{メートル}にも及ぶ。「瞬間的に見ても印象に残るように、色使いや立体感に気を遣っているかな」。

趣味も多彩。ウィンターシーズンは、ほぼ毎日歩くスキーで約十^{キロ}滑り、フルシーズン週三・四回のペースで、一時間半のウォーキングで汗を流す。また、気に入ったポイントから厚真の風景をカメラに収めるのも楽しみのひとつ。

「来シーズンの構想はほぼ出来ています。見て楽しい、メルヘン的なものを作りたいですね」。



▲森本さん自身が撮影した今シーズンのイルミ

私の大切な家族

ポロ ♂ 11歳 (犬・シーズー)

京 町 毛 利 通 孝 さん家族



ひと目ぼれしたポロを抱く奥さんの久美子さん

3人姉妹のお子さんがある毛利夫妻が、11年前クリスマスに小鳥かハムスターのような小さな動物を子どもたちにプレゼントしようとペットショップに足を運んだ時のこと、奥さんの久美子さんとクリクリした瞳の子犬と目が合った。「ビビッ！と感じたんです。完全なひと目ぼれ。子どもにプレゼントをかうつもりが親のプレゼントになっちゃったんですよ」と笑う。

月に1回のペースで美容院に通い身だしなみを整えるポロ。「カットは1回5千円。自分よりお金がかかってる」と旦那さん。奥さんいわく「去年目を離したときに、焼き鳥を串ごと飲み込んで、次の日、真っ直ぐな肉のない串が2本口から出てきたんですよ」と不死身伝説を作ったポロくん。

本

私の出会った素敵な本

「タマゴマンは中学生」 入学編 自立編 卒業編

坂本 勤／作

富 里 佐 藤 美奈子 さん

高校1年生、中学校3年生、小学校5年生の3人の息子さんを持つ子育て真っ最中の佐藤さん。紹介してくれた本は、「タマゴマンは中学生」入学編、自立編、卒業編の3冊。

「この本は、自分の子どもを思い出させてくれたり、100人いれば100通りの考え方があるんだと感じさせてくれるんです。人に見立てたタマゴマンのイラストもかわいくて、スーと心に入ってくる内容ですね」と書評を話す。

中央小学校で月に2回ほど、登校してきた授業前の子どもたちに、絵本の読み聞かせボランティアを行っている。

「自分の子どもたちが小さいころには、あまり絵本を読んであげられなかったかも。仕事で疲れていたのか、読んでいたうちに私のほうが先に眠ってしまったこともよくありましたね。だから今子どもたちに読んであげたいのかなあ」と微笑む佐藤さんだ。



みんなの.....

みなさんの声をお寄せください

- ・こんな記事を読んでこう思った。
- ・こんな疑問を持っている。役場のみなさん教えてなどどんなことでも結構です。

紙面は無記名ですが、住所や氏名、性別、年齢は伺います。

●総務課広報広聴係 電話 27-2321 FAX 27-2328



「広報あつま」を読んでクイズに応募すると、正解者の中から抽選で5人に、今月は『図書カード』をプレゼントします。

問 題

昨年(平成28年)の12月15日現在の厚真町の人口は、何人でしたか？

【ヒント】12月号の広報を見てね。

▶応募方法 ハガキかFAXで、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号と、広報や町のことについての意見・感想等を書いてください。

▶しめ切り(当日消印有効) 2月26日(月)

▶あて先 〒059-1692 厚真町京町120
厚真町役場 広報クイズ係
(FAX 27-2328)

【1月号の答え】 22人

【12・1月号の正解者】12月号の応募者数は9人、1月号は11人で、それぞれ全員正解でした。抽選の結果当選された方には後日賞品を発送します。

平成19年 自治会長の皆さん

よろしくお願いします(敬称略)

Quiz・クイズ

こんにちは！役場●●●係です

都市施設課
建築係
森本雅彦



係

では、建築確認申請の受け付け、建物検査や建築に関する相談・指導及び町建築物工事の監督等の仕事をしています。最近では、建物の耐震化に関する仕事も多くなっています。みなさんがお住まいの住宅等の耐震化やその他改修等について何かあれば、ぜひご相談ください。

まちづくり推進課
企画係
青木雅人



ま

ちづくりの企画や調整、国・道に対しての要望や請願、情報通信基盤の整備などの業務をしています。

ブロードバンドの整備については、町の実情にあつた地域情報化計画の策定を検討していますので、ご理解をお願いします。

保健福祉課
健康支援係
岡澤 恵



予

算管理、町債、交付税など資金関連と、入札契約関連を担当しています。

普段の業務で皆さんとお会いする機会はありませんが、入り口正面にいますのでお気軽に声をかけてください。

土地開発公社も兼務していますので、宅地分譲地についてのご相談も承っております。

ときどき妙な格好で自転車に乗っている人を見かけられると思いますが、私ですので怪しまないでください(笑)。

財政税務課
財政係
蛇池克広



ボランティアさんを 募集しています！

ボランティアの種類

- ①託児
- ②絵本・紙芝居などの読み聞かせ
- ③玩具の修理・おもちゃの手作り
- ④小さな果樹園の栽培のお手伝い

子育て支援センターでは、0歳から就学前のお子さんと保護者が、自宅とはちょっと違った製作、手遊び、ゲーム、歌遊びなどができる場所として活動し『子育て』をサポートしています。

今後も活動を進めるうえで、地域の皆さんにもぜひご協力いただきたいと考えています。

このような方をお待ちしています

- ★年齢は問いませんが、自分で子育て支援センターに来られる方
 - ★人と楽しくボランティア活動をしたい方
 - ★子ども好きで「やる気」のある方
- ボランティアは都合のつくときにお手伝いいただければ結構です。
興味のある方や、やってみたい方は
☎27-2321（役場）内線237
子育て支援センター
までご連絡ください。



キッズ 3月の予定

子育て支援センター「ゆうゆう島」情報



月	火	水	木	金
水曜の午後はサークル活動日です。子育て中のお母さんたちのおしゃべりの場など、気軽にご利用ください（要予約）。			1 開放日	2 開放日
5『ジェニファーと遊ぼう』 ※年齢に関係なく遊びにきてね！	6 開放日 保育園ホール開放日	7 なかよし広場 『ぼーぼーハト』 ※前日までに予約してね！	8 乳幼児相談	9 開放日
12『ジェニファーと遊ぼう』	13 開放日	14 びよびよ広場 自由におしゃべりを 楽しんでね！	15 開放日	16 開放日
19 開放日	20 開放日	21 休館日	22 開放日	23 開放日
26 開放日	27 開放日	28 開放日	29 開放日	30 開放日 (午前中のみ)

★「ゆうゆう島」ホームページはこちらからどうぞ！

厚真町ホームページ <http://www.town.atsumi.hokkaido.jp/>

→各課からのお知らせ→保健福祉課→子育て支援センター「ゆうゆう島」

＊利用時間 午前10:00～11:30 午後1:00～4:00

＊『びよびよ広場』 第1・3水曜日の午前中（予約はいりません）
0～1歳までのお子さんご家族が対象です。お子さんを自由に遊ばせながら、親同士の情報交換の場としてご利用ください。

＊『なかよし広場』 第2・4水曜日の午前中

1歳～就学前までのお子さんご家族が対象です。手遊び・ゲーム・製作など、季節の遊びも取り入れ、親子で楽しみましょう。

＊『ジェニファーさんと遊ぼう！』 開催日の午前中

カードや手遊び、うたなど英語を使って楽しく遊びましょう。

＊開放日には、お気軽に遊びに来てください。

＊電話相談（9:30～17:00）・来所相談（10:00～16:00）・予約、そのほかお問い合わせなどは

☎27-2321（役場）内線237 子育て支援センターへ!!

ホッ と ひといき

箱根大学駅伝を妻の実家でテレビ観戦するのが結婚してからの年中行事になっています。二日間になつて十時間以上も居間にクギ付けになつて居る婿もどうかと思ひますが、義父も好きなので奇異な目で見られることはありません。

今年もいろいろなドラマが繰り広げられました。病気を克服して箱根の山を登り切った走者。最初から飛ばしに飛ばし、何人も追いついたけれども、後半は別人のように足が止まり逆に抜かれた走者。……この日に向けて死にもの狂いで練習を重ねた選手一人ひとりに隠された思いを計り知ることはできません。優勝やシード権争いをする各学校の共通している目標は、ゴールまで母校のタスキをつなぐこと。私たちも厚真町民としてある区間を走っているまっ最中。ゴールは見えないけれど、次の区間で待っている人たちのためにふるさとのタスキを途切れることなくつなげていきたいと思う。（木）

人のうごき

12月16日～1月31日届出分

マチの善意



ちゅうおうしょう ねん
中央小 2年
きむら さや
木村 紗也さん（8）
「『雪だるまの家族』です。お供えもちの型とか
家にある物で作りしました。かわいいでしょ！」



ぼくわたしの作品



ちゅうおうしょう ねん
中央小 2年
かとう たいし
加藤 大志くん（8）
「題名は『宇宙人襲来』です！うまく動くかドキ
ドキしたけど、ちゃんとできてうれしかったよ」

ぼくの・わたしの
クラスじまん

ともだちっていいな



その67 かみ あつ ましょうがっ こう
上厚真小学校

紹介してくれたのは…

ねん せい
上厚真小学校 6年生のみなさん
(書いてくれたのは) 佐藤 祐佳さん



私のクラスは、男子七人、女子十二人の全員で十九人の、明るくよく笑うクラスです。

私のクラスの人は、よくおもしろいことを言って、場のふんいきを明るくする人がいっぱいいます。

私達六年生は、三月二十日に上厚真小学校を卒業します。卒業まであと少ししかありません。その間、私達は、自分の悪い所を改善しなくてはならないと思います。そのために、多くの事を学び、多くのことを知らなくてはならないと思います。

そして、卒業式の日、今までお世話になった先生方、地域の方々に、笑って見送ってもらいたいです。

そのために、六年生のみなさんと力を合わせてがんばりたいと思います。



厚高インフォメーション



93

屋内スポーツ大会

本校では、昨年の一二月二、三日の二日間、二〇〇六年の最後の生徒会行事となる屋内スポーツ大会を開催しました。

種目は、二日に男女混合バレーボール、二日、男子はバスケットボール、女子はミニバレーを行いました。種目決定は全校生徒の意見を集約して生徒会執行部が決定します。男子の種目ではバスケットボールとフットサルの意見が拮抗し、決選投票によって実施種目が決定しました。

本校のスポーツ大会は全員参加が基本原則です。チーム編成はクラスに任されていますが、その競技が得意な人が集中しないように配慮されています。その中で、優勝を目指すチームは、昼休みや放課後、熱心に練習をしていました。さて、大会結果ですが、男女混合バレーボール、男子バスケットボールは三年生、女子ミニバレーで二年生チームが優勝しました。全体的に三年生の各チームの強さが印象的な大会でした。三年生のチームは雰囲気良く、まとまりがあり、最高学年らしい戦いぶりを見せてくれました。しかし、一、二年生の追撃もあり、楽しいながらも緊迫感のある大会でした。

今月の記念日

2月14日はバレンタインデー

二月十四日はバレンタインデー。バレンタインデーの贈り物として使われるチョコレートの良さをPRしようと、日本チョコレート・ココア協会などが取り組んでいます。

明治初期には、日本でもチョコレートが商品として加工・販売された記録が残っていますが、女性から男性へ愛の贈り物としてチョコレートを贈るバレンタインデーの始まりは終戦後、昭和三十年代に入ってからです。三十年代後半になると、バレンタインデーを積極的に売り出す企業も出てきました。チョコレート会社が「バレンタインデーにチョコレート」の販売戦略を進めていくうちに、昭和四十年代末から五十年代にかけて女性の心をとらえて徐々に盛り上がり、今日のように盛んな行事になったと考えられています。

平成十七年の統計によると、チョコレートの国内消費額は年間約四千四百億円。うち一二%にあたる五百三十億円がバレンタインデーシーズンに販売されています。

ところで、チョコレートというと「甘いお菓子」というイメージですが、チョコレートの栄養がさまざまな面で健康に効果があるのをご存じでしょうか。チョコレートやココアには「ポリフェノール」という成分が入っています。ポリフェノールには、がんや動脈硬化などさまざまな病気の原因といわれる活性酸素の働きを抑える効果があります。

ポリフェノールには、がんや動脈硬化の予防だけでなく、ストレスに対する抵抗力を高めたり、アレルギーの原因物質の働きを抑えたりする効果があることが、実験などで分かっています。

ただし、食べ過ぎは禁物です。疲れたときや気分転換したいときに適量食べることで、チョコレートの効果が発揮されるのです。

文芸あつま ◆短歌◆

干支文字の冬の火花を見むとして滑り止め付き靴に出で行く

(本郷 木村 洋子)

手造りの氷のランタンほのぼのと道行く人等に温もりを伝ふ

(本郷 清水 隼)

節分のランタン祭に並ぶると孫も出て来てバケツに水汲む

(本郷 矢部 慧子)

(あつま文芸友の会発行『文芸あつま 第十一号』から抜粋)

寒い季節にはさまざまな暖房器具やグッズが役に立ちます。ところが、便利な器具やグッズも適切に使わなければ「低温やけど」を負ってしまうことがあるので、注意が必要です。

「低温やけど」ってどんなやけど？

「熱い湯がかかる」「炎に触れる」など、高温の熱源が皮膚に接触すると瞬間的に「やけど（高温やけど）」をします。一方、それほど高くない温度の熱源でも一定時間皮膚に触れるとやけどをしてしまうことがあります。これが「低温やけど」です。

調査によると44℃で約6時間、45℃で約3時間、46℃で約1時間半、皮膚に熱が加わり続けると低温やけどを負うと言われています。44℃といえは熱めのお風呂の温度で、人にとっては「心地よい」と

低温やけどにご注意

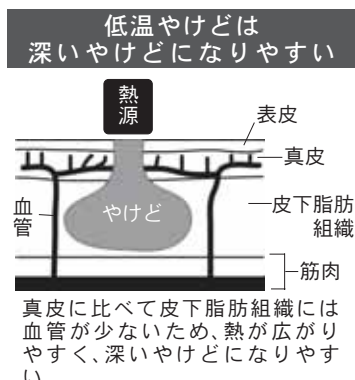
感じる温度ですが、この程度の温度の熱源が低温やけどの原因になることもあるのです。

低温やけどの特徴

低温やけどの特徴は、表皮や真皮の下の皮下脂肪組織に及ぶ、深いやけどになりやすいことです。そのため、外見上のやけどの範囲に比べ深部でのやけどの範囲が広く深くなります。（左図参照）

低温やけどは「軽い」と勘違いしやすい、重症化する

低温やけどは、次のような初期の症状から、すぐに治る軽いやけどと思われがちです。



● 外見上のやけどの範囲が狭い。大きい場合でも直径4〜5 cm程度

● 皮膚が赤みを帯びて見え、軽いやけどに色が似ている

● 水泡がでにくく、できてもし小さなポツポツができる程度

● 神経が損傷を受け、痛みを感じにくい

しかし、低温やけどから1〜2週間の間に皮膚の色は白みを帯び、さらに灰白色や黄色っぽい色へと変化します。ときには黒くなることもあり、細菌感染が起こって膿（うみ）が出ることもあります。このような変化が起こってから「軽いやけどではない」と気づくことが多いようです。

こんな人は危険性が高い！

- ・ 高齢者
- ・ 糖尿病の方
- ・ 運動麻痺のある方
- ・ 疲労状態にある方
- ・ 酔っている方
- ・ 睡眠薬を使用している方

高齢者や糖尿病の方は、加齢や

病気の影響で知覚が鈍くなると熱さを感じにくくなるため、低温やけどの危険性が高くなります。また、運動麻痺のある方は、熱いと感ずいても暖房器具から体を離せずに低温やけどをすることがあります。一方、暖房器具を使ったまま熟睡してしまい低温やけどをすることがあるのが、疲労状態にある人や酔っている人、睡眠薬を使用している人です。

低温やけどを負わないための対策

① 居眠りをしない
暖房器具をつけたまま寝入らないようにする。特にコタツは注意が必要。タイマーを利用するのもよい。

② クッションなどを利用
電気カーペットの上に横になるときは毛布を敷くか、くるぶしやかかと（熱が直接押し付けられやすい部分）の下にクッションを入れる。カーペットがすり切れていないかを確認する。

③ カバーなどの工夫

湯たんぽやあんなは厚手の布袋に入れ、むき出しにならないようにする。



④ カイロは衣類の上から
使い捨てカイロは必ず衣類の上からあて、その部分を圧迫しないようにする。

⑤ 靴用カイロは靴の中だけで

靴用のカイロは空気に触れるところで使用すると温度が高くなるので、靴の中以外では使わない。

⑥ 周囲の人の配慮

高齢者や子どもの場合、周囲の人が気をつけることも必要。寝入ったら湯たんぽを取り出すなどする。また、高齢者は暖房器具による熱中症で意識障害をきたして低温やけどをすることもあるので、ときどき様子を見るようにする。

低温やけどをしてしまったら

やけどをした場合は、流水で冷やすなどの応急処置を行い、すぐに皮膚科か形成外科を受診しましょう。もし、すぐに受診できない場合には、市販のワセリン系の軟膏を塗っておき、その後受診しましょう。軟膏を塗るときは、厚めに塗ってガーゼで覆います。

応急処置の冷却は、高温やけどには有効ですが低温やけどには効果がありません。しかし、実際にどちらのやけどかは判断がつきにくいため、迷った場合には、とりあえず冷却して、早急に受診することをお勧めします。

保健の掲示板

3月



母親教室

とき 5日(月)18:30~20:30
ところ 総合ケアセンター
対象 町内にお住まいの妊婦さんとパートナー。
持ち物 母子手帳、筆記用具
申し込み 1日(木)までに保健福祉課健康支援係(保健師)へご連絡ください。



乳幼児健康相談

とき・ところ 8日(木)
 10:00~11:00 子育て支援センター
 13:30~14:30 厚南会館
対象 生後2カ月から14カ月までの
 お子さん
持ち物 母子手帳、バスタオル

三種混合予防接種

とき 12日(月)~16日(金)※15日(木)午後は休診です。
ところ あつまクリニック
受け付け 接種希望当日に保健福祉課で受け付けを済ませてください。
受付時間は9:00~11:30、14:00~16:00です。
対象・1期初回~初めての場合には、生後3カ月から12カ月までが標準的な接種年齢となります。1期初回を1回以上接種して、生後12カ月を超えている場合は48カ月までにできるだけ終了させてください。
 ・1期追加~1期初回接種(3回)終了後、12カ月から18カ月までに接種してください。
 ※上記以外の場合は町保健師にご相談ください。
持ち物 母子手帳、印鑑

MR混合(麻しん・風しん)予防接種

とき 19日(月)~23日(金)
 ※21日(水・祝)と、22日(木)午後は休診です。
ところ あつまクリニック
受け付け 接種希望当日に保健福祉課で受け付けを済ませてください。**受付時間**は9:00~11:30、14:00~16:00です。
対象①生後12カ月~24カ月までのお子さん。
 ②平成12年4月2日~平成13年4月1日生まれのお子さん(小学校就学前の1年間にあたるお子さん)。
 ※上記以外の場合は町保健師にご相談ください。
持ち物 母子手帳、印鑑



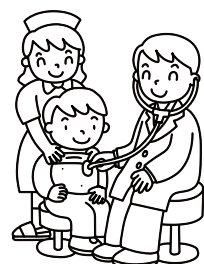
3月の日曜・祝日当番医

日程	区分	病 院 名	住 所(苫小牧市)	電 話 番 号	(診察時間) 9:00~17:00 当番医は変更になることがあります。 新聞等で確認するか、当日病院へお問い合わせください。 (お知らせ) 『北海道救急医療・広域災害情報システム』を利用して近くの医療機関などが検索できます。 ホームページアドレス http://www.qq.pref.hokkaido.jp 電話 フリーダイヤル 0120-20-8699 携帯電話・PHSからは 011-221-8699
4日(日)	内科系	吉川医院	表町5-2-3	(0144)34-4565	
	外科系	ケーアンドエークリニック	日新町2-6-1	(0144)71-2000	
11日(日・祝)	内科系	藤田医院	北光町3-9-21	(0144)72-8105	
	外科系	同樹会苫小牧病院	新中野町3-9-10	(0144)36-1221	
18日(日)	内科系	苫小牧消化器科外科	沼ノ端165	(0144)51-6655	
	外科系	苫小牧日翔病院	矢代町2-9-13	(0144)72-7000	
21日(水・祝)	内科系	神谷病院	桜木町2-25-1	(0144)71-2351	
	外科系	ともより整形外科	沼ノ端572-10	(0144)57-8211	
25日(日)	内科系	浪岡内科消化器科クリニック	沼ノ端571-17	(0144)51-2811	
	外科系	わだ脳神経外科クリニック	表町2-1-16	(0144)37-3711	

苫小牧夜間休日急病センター(内科・小児科のみ)

曜 日	受 付 時 間	(住所) 苫小牧市旭町2-5-4 (電話番号) 0144-35-0001
月曜日~金曜日	19:00~翌朝7:00	
土曜日	14:00~翌朝7:00	
日曜日	9:00~翌朝7:00	※休日は当番医のほかに、急病センターでも診察を受け付けています。
年末年始(12/31~1/3)	9:00~翌朝7:00	

★「苫小牧市医師会ホームページ」にも休日当番医表を掲載しています。
<http://www.toma-med.or.jp/>
 また、携帯電話でも休日当番医のWebサイトにアクセスできます。
 携帯電話用 URL <http://www.toma-med.or.jp/phone/>
 ※携帯電話の種類によっては、うまく表示できない場合がありますのでご了承ください。



募集

19年度の「学童保育」を希望する児童を募集

小学校1年から4年生までのお子さんと、学童保育を希望される保護者の方は、申し込みをしてください。

なお、18年度在籍しているお子さんも申し込みが必要です。

■募集期間

2月19日（月）～3月16日（金）

■受付場所

印鑑を持参して、役場保健福祉課福祉係または役場上厚真支所で申し込みください。

■問い合わせ先

役場保健福祉課福祉係
☎26-7871
1内線109



通院交通費を助成しています

助成

町では、じん臓機能障害者と特定疾患患者、在宅精神障害回復者の方々に対し、通院等に要した交通費を助成しています。

該当される方は、役場保健福祉課または役場上厚真支所に申し込

んでください。

■申し込み時期

交通費の助成については、上期と下期の2回に分けて受け付けをしています。

今回は、下期（平成18年9月から平成19年2月までに通院された分）を受け付けます。

■申し込み期限

3月20日（火）

■問い合わせ先

役場保健福祉課福祉係
☎26-7871内線108

■助成の内容

じん臓機能障害や特定疾患のある方

○対象者

町内に住所があり、かつ居住されている方で、次のいずれかに該当し、その治療のために通院する場合。

①じん臓機能障害で、人工透析療法を受けている方。

②特定疾患患者として、北海道知事の認定を受けている方。

③前記①、②に該当する方で、満12歳未満、および特に通院に介護が必要と認められる方については、介護者（1人）についても助成対象になります。

○助成費

道内（町内を除きます）の医療機関への通院交通費で、鉄道の普通旅客運賃、路線バス等によって算出された額。

ただし、他の制度によって助成を受けた場合は、その差額になります。また、厚真町人工透析患者等送迎サービスを受けた分は、助成の対象となりませんのでご注意ください。

○申し込みに必要なもの

通院証明書（用紙は役場保健福祉課または役場上厚真支所にあります）、印鑑、特定疾患医療受給者証

在宅精神障害回復者の方

○対象者

町内に住所があり、かつ居住されている方で、北海道知事から障害者手帳の交付を受けている方。

○助成費

道内の医療機関への通院および厚真町近郊の作業所等への通所等に要した交通費で、鉄道の普通旅客運賃、路線バス等によって算出された額。

ただし、他の制度によって助成を受けた場合は、その差額になります。

○申し込みに必要なもの

通院証明書（用紙は役場保健福祉課または役場上厚真支所にあります）、印鑑、障害者手帳

相談

申告相談会場が変まりました

苦小牧税務署では、今年度から苦小牧駅前プラザ（えがお）で所得

税（譲渡所得税等含む）・消費税（個人事業者・贈与税の申告相談）を行います。

■期間

1月23日（火）～3月15日（木）

（ただし、期間中の土・日曜日、祝日を除きます）

■受付時間

午前9時～午前11時30分、午後1時～午後4時30分

■会場

苦小牧駅前プラザ（えがお）6階（苦小牧市表町6丁目2-1）

※期間中は、苦小牧税務署と苦小牧市民会館内に、申告相談会場は設置しません。

■その他

・（えがお）駐車場またはバスターミナル駐車場を2時間まで無料で利用できます。

・申告相談会場には、納税窓口がありませんので、最寄りの金融機関で納付してください。

・申告書は国税庁ホームページの「確定申告等作成コーナー」（ホームページ：http://www.nta.go.jp）でも作成することができます。

・作成した申告書の提出は、郵送などで、納税は振替納税をご利用ください。

■問い合わせ先

苦小牧税務署個人課税第1部門
☎0144-32-3241

3月の運転免許証更新時講習の日程

苦小牧交通安全センターで行っている運転免許証更新時講習（優良）の日程をお知らせします。

◆午前10時開講：1日（木）、5日（月）、7日（水）、9日（金）、12日（月）、16日（金）、19日（月）、23日（金）、26日（月）、28日（水）、30日（金）

◆午後1時30分開講：13日（火）、27日（火）

◆午後3時30分開講：6日（火）、20日（火）

※このほかの講習日程（一般、違反、初回）については、下記までお問い合わせください。

※優良は5年以上継続して免許のある方で、過去5年間無事故・無違反の方。

■問い合わせ先（社）苦小牧地区交通安全協会 ☎0144-33-1458

落氷雪による事故にご注意ください

今シーズンは降雪が少ないですが、例年2月は、気温の寒暖の差が大きくなり、落氷雪による事故が発生しています。

このような事故を防ぐため、屋根の雪や氷柱（つらら）を早めに下ろす、危険な軒下は歩かない、子どもたちを落氷雪の危険がある場所で遊ばせないなど注意しましょう。

除雪機による除雪は、周囲の安全確認と修理時におけるエンジン停止など事故防止を心がけましょう。

苦小牧警察署・厚真町

選挙

郵便等による不在者投票制度をご利用ですか

本年は4月の統一地方選挙と7月には参议院議員選挙が予定されています。

これらの選挙において投票を行う場合、特に体の不自由な方には自宅で投票できる、「郵便等による不在者投票制度」があります。

■この制度を利用できる方

・身体障害者手帳の交付を受けている方で、

両下肢、体幹、移動機能の障害

↓1級または2級

心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の障害

↓1級または3級

免疫の障害

↓1級から3級まで

・介護保険法による要介護状態区分が要介護5の方。

・戦傷病者手帳の交付を受けている方で、一定基準を満たしている方。

この制度を利用する場合には、本人または代理による申請が必要になります。詳しくは、町選挙管理委員会事務局までお問い合わせください。

■問い合わせ先

町選挙管理委員会事務局

(☎27-2321)

選挙

郵便等投票証明書の期限を確認してください

各種選挙で郵便による不在者投票制度をすでに利用されている方は「郵便等投票証明書」を受けていますが、この証明書には有効期限(障害者手帳または戦傷病者手帳により証明を受けた場合は7年間、介護保険法により証明を受けた場合は要介護度に変更があった日まで)があります。

今後行われる選挙で期限が満了している、この制度が利用できなくなりますので、確認のうえお早めに本人または代理による更新等の手続きをしてください。

■問い合わせ先

町選挙管理委員会事務局

(☎27-2321)

募集

学校給食センター臨時調理員を募集します

厚真町学校給食センターでは、次により臨時調理員を募集します。

■人数 1人

■資格・年齢

・資格は問いませんが、18歳から50歳までの健康な方(平成19年3月1日現在の満年齢)。

■勤務条件

・時間/午前8時〜午後4時30分
・勤務日/土・日・祝日等を除く

19-2、☎26-7611

郵便

厚真・上厚真郵便局が配達センター化へ

厚真郵便局と上厚真郵便局の郵便の営業時間外窓口(ゆうゆう窓口)の取り扱いが変更になり、平成19年2月26日から設けないことになりました。変更に当たり、お客さまに不便をおかけしないよう、代わりの施策を実施します。

■代わりの施策
厚真郵便局と上厚真郵便局の中に配達や集荷を専門に行う「配達センター」を設置します。

・ご不在でお受け取りいただけなかった郵便物
ご不在だった翌日以降、毎日、

「配達センター」から配達に伺います。事前にご連絡いただければ、郵便局の窓口営業時間内であれば、今までもおり郵便局の窓口でお受け取りいただけます。

・ゆうパックのご利用
ご連絡いただければ、「配達センター」から集荷に伺います。また、「ゆうパック取扱所」もご利用いただけます。

■問い合わせ先

厚真郵便局(☎27-2611)、上厚真郵便局(☎28-2360)

詳しくは、後日全戸に配布されるチラシをご覧ください。

町議会議員選挙の立候補予定者説明会を開催します

4月22日執行予定の厚真町議会議員選挙立候補予定者説明会を開催します。

■日時 3月23日(金)午後1時30分

■場所 町総合福祉センター青年室

■問い合わせ先

町選挙管理委員会(☎27-2321)



北方領土はわが国固有の領土

～四島還れ! 日本の声です 叫びです～

えとろふ くなしり しこたん はばまい
択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島からなる北方領土は、わが国固有の領土であることを今こそ心にとどめよう。一人ひとりの島への熱い思いが、返還実現の近道です。

まつざわ ゆず は
松澤 柚葉ちゃん
H 17・2・22 生
父— 泰 幸さん
母— 由美子さん
(新 町)

●— わが家のアイドルはこんな子です。—●

「いつもにこにこしていて、よく笑っていますね。
ごっこ遊びをしたりビデオや本を見るのも好き
かな？最近をよく歌をうたっています。何でもま
ねするので言葉を覚えるのも早いですよ～」



いけだ あおい
池田 葵ちゃん
H 17・2・13 生
父— 好 彦さん
母— 明 美さん
(厚 和)

●— わが家のアイドルはこんな子です。—●

「5人きょうだいの末っ子でとても明るく、お笑
い好きのお兄ちゃんたちに影響を受け『ちょっ
と！ちょっとちょっと』とか、いろいろ披露して
くれます。スマップの踊りも踊れるんですよ♪」



■今月の表紙

町教委の主催で小学生対象のスケートリンク教室が1
月10日から3日間、町民スケートリンクで行われました。
幅田洋司さん（朝日）など4人が、子どもたちに基礎か
ら指導していました。

■今月の内容

資源ごみの収集日が変わります	いきいきふるさと図鑑
町の組織が変わります	みんなの広場
成人式カメラフラッシュ	まなびや
スケート記録会フォト	健康情報・保健の掲示板
まちの話題	情報ひろば

2007年2月
NO. 654

1月末現在の人口
5,089人(前月比 - 6)
男 2,475人／女 2,614人
世帯数 2,012